

読書活動推進に向けた取組

1. 学校の概要

① 所在地

福島県福島市永井川字北原田 1

② 学級数・生徒数

生物生産科 6 クラス、環境土木科 3 クラス、食品科学科 3 クラス、
生産情報科 3 クラス 計 15 クラス 490 名（令和 7 年 1 月 20 日現在）

③ 学校図書館の蔵書数

18, 630 冊（令和 6 年 3 月末現在）

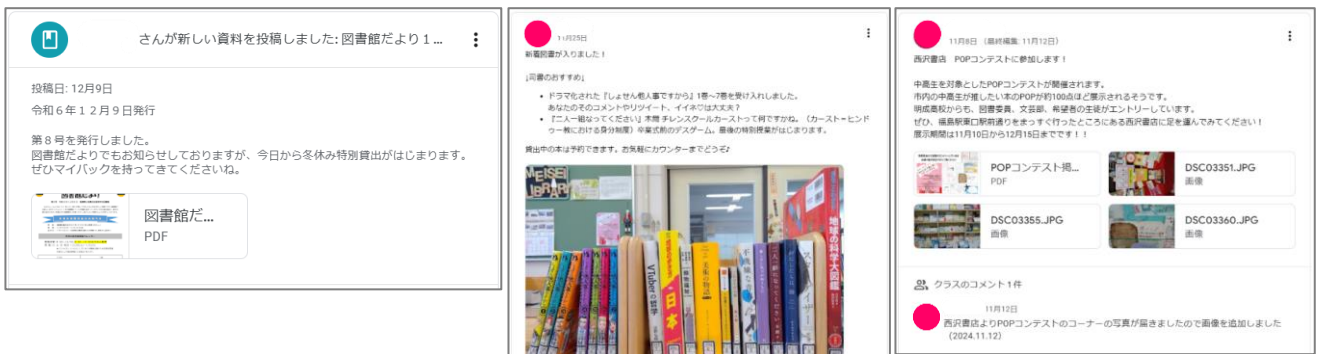
2. 取組内容

(1) 生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

① 図書館クラスルームでの情報配信

Google クラスルームを活用した、図書館情報の配信をしている（2022 年 12 月運用開始）。全校生徒のほとんどがクラスルームに参加しており、教職員の参加は任意としている。週に 1 回から 2 回ほど不定期で配信し、内容は図書館だよりや新着図書一覧といった図書館情報の配信、図書館イベントのお知らせ、展示コーナーの紹介、新着図書受入のお知らせなどで、作成者は主に学校司書が行っている。

また、グループ機能を活用して図書委員への連絡もクラスルームで行っている。



▲福島明成高校図書館クラスルームの投稿

② ブクログを活用した蔵書検索

株式会社ブクログの提供するブックレビューサービス「ブクログ」の福島明成高校図書館アカウントを作成し、本棚の検索機能を用いて館内蔵書検索が個人のスマートフォンやタブレットからできる（2023 年 12 月運用開始）。登録資料は 2020 年以降に受入した資料のほか、利用が多く見込まれる文学（請求記号 913 から 933）と進路対策コーナーなどの別置資料も登録している。

③ Google フォームを活用した本のリクエスト受付

Google フォームを活用することにより、図書館に来館しなくても読みたい本のリクエストができるようになった。リクエスト件数は、2023 年度 70

件、2024年度（2024年12月時点）38件。

- ④ 生徒利用タブレットの館内設置
館内利用できるタブレットを2台設置。
- ⑤ 校内小文化祭への参加
図書委員会が校内展示に参加した。おすすめ本の紹介POPと図書館クイズを作成し体育館に設置した。図書館クイズでは学年別にカラーシールを用意し3年生の回答が最も多かった。

▼校内小文化祭の展示



(2) 学校における読書を通じた読書週間の定着を図る取組

- ① 朝の読書週間
10分間、年間8週実施。
- ② 多読賞
2月から翌年1月までに50冊以上の利用があった生徒には多読賞として図書カードを贈っている。これまでの受賞者数は2023年度10名、2022年度12名。
- ③ 校内選書会の実施（協力：岩瀬書店）
学校図書館用図書見本巡回セットを活用した校内選書会を実施（2023年7月、2024年9月）。中高生から一般向けの一般書と専門書約350冊を展示し、生徒と教職員に図書館に入れてほしい本を実際に手に取りながら選べるようにした。書店員と学校司書が立ち合い、直接生徒と教職員のニーズを把握できるような場になったと思う。次年度以降も継続して実施していきたい。



▲校内選書会の様子

(3) 読書活動の質の向上へ向けた取組

- ① 西沢書店POPコンテストへ参加（協力：西沢書店）
図書委員と文芸部の生徒、8名が応募した。

(4) その他、読書活動推進へ向けた取組

- ① 図書委員夏季研修会の実施
図書委員の活動の一環として、2023年度は福島県立図書館に、2024年度は宮城県多賀城市立図書館の見学会を実施。多賀城市立図書館では図書館見学と、併設された蔦屋書店で選書実習を行う。事前学習会を本校図書館で開催し、図書館に向いている本はどのような本かを考え、個人の趣味に偏ることなく購入することができた。

▼福島県立図書館見学



▼多賀城市立図書館見学



② 高校生による読み聞かせボランティアへ参加（協力：岩瀬書店）

2024年10月12日岩瀬書店八木田店プラスゲオにて、保育基礎を選択している3年生3名がボランティアに参加。読み聞かせの本の選定から、練習、校内リハーサルを行い本番に臨んだ。校内リハーサルは学年問わず15名の参加があった。



▲読み聞かせボランティアの様子